

 <p>長野高校 1 学年 SGH 通信</p>	<h1>有 隣</h1>	<p>緑のファイルにまとめましょう 第 8 号 2016 年 7 月 25 日 (月)</p>
---	--------------	---

フィールドワークの事前学習 ～サンクゼール編～

当日の活動について

- 8:35 集合（金鷲会館前にバスが停まっています）
- 8:40 学校出発
- 9:30 飯綱町サンクゼール着
- 9:35 スケジュール、会社概要の説明 大入りぶどう園へ移動（徒歩）
- 10:05 大入りぶどう園見学
- 10:50 ワイナリー見学 3班に分かれて見学
製造（パスタソース）・品証、開発（自社製品開発）・本店（購買）
- 12:15 昼食（中庭にて）
- 13:15 バスにて 信濃町センター（信濃町大字平岡 2249-1）へ移動
- 13:30 信濃町センター事務部門（バックオフィス）の見学
- 14:00 MD本部の最新の取り組みの紹介
- 14:30 事業・地域との取り組みの紹介
- 14:40 グループディスカッション、発表
- 15:40 信濃町センター出発
- 16:10 学校到着、解散

当日の服装・持ち物

レジャーシート（昼食時に芝生で使用）、運動靴、昼食、ペットボトルなど、筆記用具、ファイル、事前学習資料、折りたたみ傘、ジャージは禁止

事前学習のポイント

サンクゼールの企業としての考え方（哲学）を知る（資料参照）

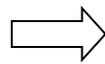
フィールドワークの事前学習 ～鬼無里編～

当日の活動について

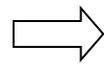
- 8:35 集合（金鷄会館前にバスが停まっています）
- 8:40 学校出発
- 9:30 長野市役所鬼無里支所駐車場着、荷物を置き、トイレを済ませ萩の峰に出発
- 9:50 杉林の皮むき間伐作業、里山整備体験
- 11:00 作業終了、太陽光発電所へ移動、見学
- 11:40 鬼無里ふるさと資料館見学
- 12:40 昼食（長野市役所鬼無里支所となり環境改善センターにて）
- 13:30 地球温暖化対策に関する講話（まめってえ鬼無里）
- 14:30 グループディスカッション
- 15:30 長野市役所鬼無里支所駐車場出発
- 16:20 学校到着、解散



間伐前



間伐中



間伐後

当日の服装・持ち物

長ズボン・長袖の上着（学校の運動着など）、運動靴（できれば長靴）、軍手、帽子、タオル、Tシャツなどの着替え、カッパ（雨具）、昼食、飲み物、筆記用具、ファイル、事前学習資料

*** 森林内での体験学習では半袖・短パン姿は絶対に NG。長ズボン・長袖・帽子と軍手が必須。**

事前学習のポイント

・鬼無里の現状は…

千国街道と戸隠や善光寺を結ぶ街道沿いに位置し、人々の往来も盛んで豊かな里であったが、交通機関の発達とともに人口の減少に見舞われ、サル、ハクビシン、クマなどによる農業被害や遊休荒廃地が深刻化している。林業分野では後継者不足によって伐採されずに更新期を迎えた広大な林野のメンテナンスが課題となっている



・NPO 法人まめってえ鬼無里の活動（HP より）

『まめってえ鬼無里』は、鬼無里の活性化を目的としたNPO法人です。

「まめってえ」とは方言で、「元気な」という意味。

ここ鬼無里は長野市街と白馬との間に位置し、裾花川を中心に奥裾花溪谷から戸隠に至る山間の谷の里。豊かな自然に囲まれた地ではありますが、他の中山間地域と同じく、過疎化や農地・森林の荒廃が問題となっています。

「美しく、自然豊かな鬼無里が元気を取り戻せば、かつての谷の都に復活するはず。」

そんな思いでまめってえ活動を行なっています。

農林業の振興、遊休農地屋山山の整備再生、自然エネルギーを活用し循環形社会の構築、地域資源の活用、歴史・伝統・文化の伝承、スポーツ振興や健康講座などの取り組みなどから、心身ともに「まめってえ鬼無里」を目指します。

HP も見てみよう

NPO 法人まめってえ鬼無里 <http://mamettee.org/>

・鬼無里に太陽光発電所が完成した。（右、信濃毎日新聞）

現在では法律上の関係で発電した電気はすべて電力会社に売られているが、発送電分離が実現した後は、ここで発電されたものは鬼無里の地域で使いたいとのこと。里山の整備を通して「持続可能な社会」を模索している。



<MEMO>

 長野高校 1 学年 SGH 通信	<h1>有 隣</h1>	緑のファイルにまとめましょう 第 8 号 2016 年 7 月 25 日 (月)
--	--------------	--

フィールドワークの事前学習 ～七二会編～

当日の活動について

- 8:35 集合（金鷄会館前にバスが停まっています）
- 8:40 学校出発
- 9:20 七二会支所到着、トイレ休憩後に出発
- 9:50 大平農園到着
ソルガムについての説明・見学（長野市 新井係長）
- 10:40 農業体験（林会長・他）
休憩を挟みながら
- 11:40 大平農園出発
- 12:00 七二会支所到着 2F 会議室にて昼食
（ソルガムのおにぎりを試食）
- 13:00 七二会の現状と課題について（石坂局長）
- 13:50 地域おこし協力隊の説明および質疑応答（山崎信悟隊員、石鍋明子隊員）
- 15:00 グループディスカッション
- 15:40 七二会支所出発
- 16:30 学校到着、解散



当日の服装・持ち物

長ズボン・長袖の上着（学校の運動着など）、運動靴（できれば長靴）、軍手、帽子、タオル、Tシャツなどの着替え、カッパ（雨具）、昼食、ペットボトルなど、筆記用具、ファイル、事前学習資料

***大平農園での活動は半袖・短パン姿はNG。長ズボン・長袖・帽子と軍手が必須です。**

事前学習のポイント

- ・ソルガムとは…イネ科の一年生作物で小麦、稲、トウモロコシ、大麦に次ぐ世界 5 大作物のひとつ。「実・茎・葉」の多段階活用が可能。原産地はアフリカ。日本には遅くとも平安時代には伝来し、「モロコシ」「タカキビ」「コーリヤン」とも呼ばれる。

省力栽培が可能で有害鳥獣による被害はほとんどなく、資源作物（メタン発酵としても有望視される。実はノンアレルギー食品として注目されている。

- ・平成 25 年度に信州大学地域戦略センターと長野市の共同研究として「耕

作放棄地活用再生可能エネルギー創出可能性調査事業」を実施し、長野市におけるソルガム活用に事業者の可能性を見いだしている。

- ・信州大学工学部の天野良彦教授により産学官地域連携の事業として展開されている。

HP も見てみよう

信州大学「信州知の森」

<http://www.shinshu->

[u.ac.jp/special/cooperation/2010/04/29086.html](http://www.shinshu-u.ac.jp/special/cooperation/2010/04/29086.html)

- ・七二会は荒廃農地率が高い（長野市全体 30%に対して、七二会は 68.4%）。高齢化により遊休荒廃地が増加したために人間と有害鳥獣のすみ分けができなくなった。
- ・七二会地区は縄文時代中期から人類が居住していたといわれる。醍醐天皇の時代に建立されたといわれる守田神社や、鎌倉時代に七二会の地を統治した春日氏に關係する城址が 7 カ所存在している。



<MEMO>

 長野高校 1 学年 SGH 通信	<h1>有 隣</h1>	緑のファイルにまとめましょう 第 8 号 2016 年 7 月 25 日 (月)
--	--------------	--

フィールドワークの事前学習 ～小布施編～

当日の活動について

- 8:35 集合（金鷲会館前にバスが停まっています）
- 8:40 学校出発
- 9:15 小布施町役場着
- 9:30 第 1 会議室にて小布施の町づくりについてのレクチャー（宮崎貴司さん）
- 10:30 まちあるき
- 11:30 リフレクション「実際にまちを歩いてみて」（仮説づくり）
- 11:45 お昼
- 12:45 フィールドワーク（インタビュー）の注意点など
- 13:00 町内でのインタビュー
- 14:30 リフレクション・ディスカッション
- 15:15 まとめ
- 15:30 小布施役場発
- 16:00 学校到着



現地集合を希望する場合について

- ・希望者はコース担当の先生（山崎先生）にこの時間内に申し出ること。
- ・9 時 15 分に小布施役場集合、15 時 30 分に小布施役場解散とします。

当日の服装・持ち物

昼食、ペットボトルなど、筆記用具、ファイル、折りたたみ傘、事前学習資料

***町歩き・聞き取り調査では暑さ対策・直射日光への対策が必要です。**

事前学習のポイント

・小布施の現状は…葛飾北斎をはじめ、歴史的遺産を活かしたまちづくりで人気を呼び、今や北信濃地域有数の観光地として認知度も高くなっている。

・配付資料も参考に、小布施町（行政）の考える町づくりを知る。

HP も見てみよう 小布施町 <http://www.town.obuse.nagano.jp/>

小布施文化観光協会 <http://www.obusekanko.jp/>

・当日の午後は設定されたテーマに対する聞き取り調査になる。どのようなテーマになるかわからないが、①住民の方への聞き取り、②観光客への聞き取り、③外国人への聞き取りなど、班ごとに聞き取り調査のイメージをしておくとうい。



先日の説明会での本校課題研究三訓の振り返り

謙虚であれ

君たちは確かにたくさんの知識を持っている。しかし、その知識は対象のほんの一部でしかない。「知らない」と認めることが本当の「知っている」に人を導く。

勇敢であれ。

知らない高校生と話すのさえ勇気がいるのに、知らない大人に話を聞くなんて…先輩達もそう思った。でも、1 回やったことは何回でもできる。「はじめの一步」を踏み出す勇気を持とう。

柔軟であれ。

あらゆる事物は多面体である。一つの見方しかできないものなど存在しない。自分と違う見方に耳を傾ける柔軟さを持とう。そして、それをおもしろがれる感性を育てよう

<MEMO>

	<h1>有 隣</h1>	緑のファイルにまとめましょう 第8号 2016年7月25日(月)
---	--------------	--

フィールドワークの事前学習 ～須坂編～

当日の活動について

- 8:55 集合（金鷄会館前にバスが停まっています）
- 9:00 学校出発
- 9:40 須坂クラシック美術館裏で下車、徒歩で蔵の町観光交流センターへ移動
- 9:50 自己紹介等
- 10:00 須坂景観づくりの会のメンバーによる発表
小林義則さん、土屋武志さん、山崎喜彰さん、牧克也さん
- 12:00 昼食（蔵の町観光交流センター）
- 13:00 現地見学（町並み散策と聞き取り調査、3グループに分かれて行動）
- 15:00 調査結果のまとめ
- 15:30 須坂クラシック美術館裏出発
- 16:00 学校到着



現地集合を希望する場合について

- ・希望者はコース担当の先生（吉川先生）にこの時間内に申し出ること
- ・9時30分に蔵の町観光交流センター前集合とします。（須坂クラシック美術館の先）
- ・終了後は15時30分に蔵の町観光交流センター前解散とします。

当日の服装・持ち物

運動靴、昼食、ペットボトルなど、筆記用具、ファイル、折りたたみ傘、事前学習資料

町歩き・聞き取り調査では暑さ対策・直射日光への対策が必要です。水分補給も万全に。

事前学習のポイント

- ・須坂と須坂景観づくりの会について

江戸時代は須坂藩の陣屋町であり、明治から昭和初期にかけては製糸業で栄え、当時の繁栄を偲ばせる土蔵や大壁造りの商家が残る須坂。このまちで、それを生かした景観づくりを考え、実行しているのが須坂景観づくりの会。



HP も見てみよう 須坂探検マップ内須坂景観づくりの会

<http://www.suzakamap.com/project/>

- ・須坂景観づくりの会の実践について



実践前

実践中

実践後

- ・午後の現地見学は須坂の町並み散策と、商店主からの聞き取り調査をおこないます。

訪問予定の施設、店舗等

中村洋品店、増屋、山下薬局、坂詰商店、割烹能登忠、遠藤酒造場、

ゲストハウス蔵、蔦屋茶店、小妻屋本店、粹屋、錦町大門通り線

HP も見てみよう 須坂探検マップから検索が可能な商店などがあります

- ・商店主の方々に聴いてみたいことを考えておく。

<MEMO>

フィールドワークの事前学習 ～善光寺界限編～

当日の活動について

- 9:00 新小路ホール現地集合
*自転車の駐輪については康楽寺境内にお願いしてある。下の地図を参照
まちなりたちを考えるワークショップ 筆記用具・事前資料を忘れずに！！
- 11:30 お昼休み
- 12:30 分科会：まちあるき（6班に分かれて）
- 14:30 「まちあるき」まとめ、発表 各班 10分（発表、質疑応答）×6班
- 15:30 現地解散



当日の服装・持ち物

昼食、ペットボトルなど、筆記用具（定規、赤のペンまたは色鉛筆、緑か青のペンまたは色鉛筆）、ファイル、デジカメ（スマホ）、折りたたみ傘、事前学習資料、

***町歩き・聞き取り調査では暑さ対策・直射日光への対策が必要です。水分補給も忘れずに。**

事前学習のポイント

- ・リノベーション（renovation）＝既存の建物に大規模な工事を行うことで、新しい価値を与えること。
- ・善光寺門前の東町はかつて問屋街として賑わったが、鉄道や自動車の発達とともに問屋は郊外へと移転。後には紙問屋、文房具問屋、ビニール問屋などの様々な空き家が残り、町は閑散とした。しかし、その空き家に新しさ、おもしろさ、美しさを発見する若者達が現れ、魅力的な空間を作り出している。
- ・まちあるき（6班に分かれて）のテーマ
地域と関わり合いながら
上下水道、道路構造物をめぐる
まちの出版界めぐり
古道具屋から、古道具を生かした内装の空間をめぐる
建物の境界線、表裏
このまちに移り住んで開業、その後。お店めぐり

<MEMO>

注意

- ・交通安全に心がけ、時間にゆとりを持って集合すること。
- ・駐輪場を貸していただくことについて、康楽寺の住職さんに快く承諾していただいた。感謝の気持ちを忘れずに、北側の壁に整然と駐輪してください。
- ・貴重品の管理は各自でおこなうこと

 長野高校 1 学年 SGH 通信	<h1>有 隣</h1>	緑のファイルにまとめましょう 第 8 号 2016 年 7 月 25 日 (月)
--	--------------	--

フィールドワークの事前学習 ～飯綱高原編～

当日の活動について（農業コース）

- 8:35 集合（金鶏会館前にバスが停まっています）
- 8:40 学校出発（観光コース 30 人とともに）
- 9:20 大座法師池前ふれあいの塔前で下車、徒歩で農場移動
- 9:40 NPO 法人飯綱高原よっこらしよの説明
- 10:30 農場での体験学習（草刈り・ヤギの世話など）
- 12:30 昼食（農場内で）
- 13:30 周辺地域見学とワークショップ（遊休農地活用のプランニング）
- 15:30 農場出発、大座法師池前ふれあいの塔前で乗車
- 16:10 学校到着



当日の服装・持ち物（農業コース）

長ズボン・長袖の上着（学校の運動着など）、長靴（なければ運動靴）、軍手、帽子、タオル、Tシャツなどの着替え、カッパ（雨具）、昼食、ペットボトルなど、筆記用具、ファイル、事前学習資料

***農場での体験学習では半袖・短パン姿は避けること。帽子とタオルは必須です。**

事前学習のポイント（農業コース）

- ・遊休農地とは何か…耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されない
と見込まれる農地。平成 22 年度の耕作放棄地（遊休農地の一步手前）
率は 10.6%。
- ・NPO 法人「飯綱高原よっこらしよ」は 1990 年代以降分譲開発された飯綱高原に住み始め
た住民達が、遊休農地問題を解決するとともに「食」の問題に取り組もうと立ち上げられた。

HP も見てみよう NPO 法人飯綱高原よっこらしよ <http://iizuna.org/>

- ・「よっこらしよ」は昔からの住人である芋井地区の農家の方達との協働も次第に広がり、多
彩な活動が行われている。
- ・当日は農場での体験や周辺地域を見学したうえで遊休農地活用のプランニングをしてもらい
ます。担当者に質問してみたいことをいくつか考えてみましょう。

当日の活動について（観光コース）

- 8:35 集合（金鶏会館前にバスが停まっています）
- 8:40 学校出発（農業コース 10 人とともに）
- 9:30 「オトナリハウス」駐車場着
- 9:40 飯綱高原観光協会・長野市開発公社より説明
- 10:30 飯縄火まつり準備作業（灯籠づくりなど）
- 12:30 昼食（キャンプ場内で）
- 13:15 周辺地域見学、ハイランドホールにて飯綱高原活性化のプランニング
- 15:40 ハイランドホール出発
- 16:10 学校到着



当日の服装・持ち物（観光コース）

長ズボン・長袖の上着（学校の運動着など）、運動靴（できれば長靴）、軍手、帽子、タオル、Tシャツなどの着替え、カッパ（雨具）、昼食、ペットボトルなど、筆記用具、ファイル、事前学習資料

事前学習のポイント（観光コース）

- ・飯綱高原の観光の現状を知る…飯綱高原スキー場、飯綱高原キャンプ場
- ・飯縄火まつりとはどのような祭りなのか
HP も見てみよう 飯綱高原観光協会 <http://iizuna-navi.com/>
- ・当日は周辺地域を見学したうえで飯綱高原活性化のプランニングをしてもらいます。担当者
に質問してみたいことをいくつか考えてみましょう。

<MEMO>